

# 関西国際大学学則

## 第1章 総 則

### (目 的)

第1条 関西国際大学（以下、「本学」という。）は、教育基本法及び学校教育法に基づき、グローバルな視野に立った教養と専門的知識・技術を修得し、安全な社会やコミュニティづくりに向けて総合的に活用できる人材を育成することを目的とする。

2 各学部の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、各学部の学部規則に定める。

### (教育目標)

第1条の2 前条に規定する目的を実現するために、本学は次の各号に定める力・資質を修得・涵養し、総合的に活用できる人材を養成することを教育目標とする。

- (1) 自律的で主体的な態度（自律性）
- (2) 社会に能動的に貢献する姿勢（社会的貢献性）
- (3) 多様な文化や背景を理解し受け容れる能力（多様性理解）
- (4) 問題発見・解決力
- (5) コミュニケーションスキル
- (6) 専門的知識・技能の活用力

### (2 削除)

2 本条に規定する教育目標の達成方法及び評価方法は、別に定める。

### (自己評価等)

第2条 本学は、教育水準の向上を図り、その目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

2 前項に定める評価を行うにあたっての項目の設定、実施体制等については、別に定める。

## 第2章 学部・学科、学生定員及び修業年限

### (学部・学科及び学生定員)

第3条 本学において設置する学部・学科・専攻及びその学生定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	編入学定員	収容定員
経営学部	経営学科	100人	20人	440人
人間科学部	人間心理学科	125人	—	500人
教育学部	教育福祉学科	150人	—	600人
	福祉学専攻	30人	—	120人
	こども学専攻	120人	—	480人
国際コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	50人	—	200人
保健医療学部	看護学科	80人	—	320人

### (短期大学部)

第4条 (削 除)

### (大学院)

第4条の2 本学に大学院を置く。

2 大学院に関することは、別に定める。

(別科)

第4条の3 本学に別科を置く。

2 別科に関することは別に定める。

(修業年限及び在学年限)

第5条 本学の修業年限は4年とする。

2 学生は8年を超えて在学することはできない。ただし、第14条及び第15条の規定により入学した学生は、在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。

### 第3章 学年、学期及び休業日

(学 年)

第6条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

(学 期)

第7条 学年を次の4学期に分ける。

春学期 4月1日から7月31日まで

夏学期(集中) 8月1日から9月30日まで

秋学期 10月1日から翌年1月31日まで

冬学期(集中) 2月1日から3月31日まで

(休業日)

第8条 休業日は、次のとおりとする

日曜日

国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日

夏期休業日 8月1日から8月31日まで

冬期休業日 12月24日から翌年1月6日まで

春期休業日 3月21日から3月31日まで

2 必要がある場合、学長は、前項の休業日を臨時に変更することができる。

3 第1項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。

### 第4章 入学、退学及び休学

(入学の時期)

第9条 入学の時期は、春学期または秋学期の始めとする。

(入学資格)

第10条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当するものとする。

(1) 高等学校を卒業した者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を終了した者を含む)

(3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5) 文部科学大臣の指定した者

(6) 大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者

(7) その他、相当の年齢に達し、本学において高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

(入学の出願)

第11条 本学に入学を志願する者は、本学所定の書類に入学検定料を添えて提出しなければならない。

2 その他提出の時期、方法、提出すべき書類等については、別に定める。

(入学者の選考)

第12条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより、選考を行う。

(入学手続及び入学許可)

第13条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は所定の期日までに、誓約書、身元保証書その他本学所定の書類を提出するとともに、所定の納付金を納入しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

(編入学)

第14条 本学に、編入学を志願する者は、第3条に定める編入学定員の枠内又は欠員のある場合、選考の上、3年次に学長が入学を許可する。

2 編入学の入学資格は、次の各号の一に該当するものとする。

(1) 短期大学を卒業した者

(2) 他の大学において、2年以上在学し、62単位以上修得した者

(3) 大学を卒業した者

(4) 専修学校の専門課程を修了した者

3 その他、編入学について必要な事項は、別に定める。

(再入学・転入学)

第15条 本学に再入学、又は転入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に学長が入学を許可することがある。

2 前項の規定により入学を許可された者の既に修得した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

(転学部・転学科・転専攻)

第16条 転学部・転学科・転専攻を希望する者がある時は、選考の上、学長が許可することがある。

2 前項の実施に関して必要な事項については、別に定める。

(退学)

第17条 退学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(休学)

第18条 疾病その他やむを得ない事情により3ヵ月以上修学することのできない者は、学長の許可を得て休学をすることができる。

2 疾病のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

(休学の期間)

第19条 休学の期間は1年を超えることができない。ただし特別の事由がある場合は、引き続き更に1年を限度として延長を認めることができる。

2 休学の期間は通算して2年を超えることができない。

3 前2項の規定にかかわらず、母国の兵役により休学する場合は、2年を限度に、前2項の休学限度期間に加えることができる。

4 休学の期間は第5条第2項の在学年限に算入しない。

(留学)

第20条 外国の大学又は短期大学で学修を志願する者は、学長の許可を得て留学することができる。

2 前項により留学する期間は、原則として3ヶ月以上1年以内とし、2年を限度とする。

3 第1項により留学する者は、許可された期間のうち1年を限度として、第33条に定める在学年限に算入することができる。

4 本条に定めるもののほか、留学について必要な事項は、別に定める。

(復学)

第21条 休学期間中にその理由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。

(除籍)

第22条 次の各号の一に該当する者は、学長が除籍する。

- (1) 第5条第2項および第3項に定める在学年限を超えた者
  - (2) 第19条第2項に定める休学の期間を超えてなお修学できない者
  - (3) 授業料等の納入を怠り、督促してもなお納入しない者
  - (4) 死亡または長期にわたり行方不明の者
- 2 除籍となった者の復籍については別に定める。

## 第5章 教育課程及び履修方法等

### (授業科目)

第23条 授業科目を分けて、専門教育科目、基盤教育科目とする。

- 2 授業科目の種類、単位数等は別表第1-1から第1-5のとおりとする。
- 3 前1項に定めるもののほか、教員免許状取得に必要な科目を置く。
- 4 前3項の授業科目の種類、単位数等は別表第2のとおりとする。

### (KUISオナーズプログラム)

第23条の2 各学部（保健医療学部を除く。）に、学部横断型の教育を行うための教育課程として、KUISオナーズプログラムを置く。

- 2 KUISオナーズプログラム及び当該プログラムの教育を受ける学生の卒業の認定については、KUISオナーズプログラム規則により定める。

### (授業期間)

第24条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

### (単位の計算方法)

第25条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、次の基準により計算する。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
  - (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間の範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
  - (3) 講義、実験、実習又は実技のうち2以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作、課題研究等の授業科目については、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

### (単位の授与)

第26条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与えるものとする。

### (学習の評価)

第27条 試験等の評価は優、良、可、不可、または認定をもって表わし、可以上あるいは認定を合格とする。

### (入学前の既修得単位等の取扱い)

第28条 本学において教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った他の大学又は短期大学における学修又は文部科学大臣が別に定める学修を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を認定することができる。

- 2 前項により修得したものとして認定することのできる単位数は、編入学等を除き、本学において修得した単位以外のものについては、合わせて60単位を超えないものとする。
- 3 前2項の単位認定の取扱いについては、別に定める。
- 4 前3項の単位認定の取扱いについては、別に定める。

### (他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第29条 本学において教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとして認定することができる。

2 前項の実施に関して必要な事項については、別に定める。

(外国の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第30条 本学において教育上有益と認めるときは、外国の大学又は短期大学との協議により、学生が休学することなく当該外国の大学又は短期大学において学修することを認めることがある。

2 前項の実施に関して必要な事項については、別に定める。

(大学以外の教育施設等における学修)

第31条 本学において教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他本学が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を認定することができる。

2 前項により認定できる単位数は、第29条第1項により本学において修得したのものとして認定する単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

3 前2項の単位認定の取扱いについては、別に定める。

第32条 第29条、第30条及び第31条の規定により他の大学又は短期大学あるいは外国の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、本学における授業科目の履修により修得したのものとして認定することができる単位数は、すべてを合わせて60単位を超えない範囲とする。

(長期にわたる教育課程の履修)

第32条の2 学生が職業を有している等の事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを希望する旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることがある。

2 前項の実施に関して必要な事項については、別に定める。

## 第6章 卒業等

(卒業の要件)

第33条 本学を卒業するためには、学生は、休学期間及び特別履修期間を除いて、4年以上在学し、別表第1に定めるところにより、126単位以上を取得しなければならない。

(卒業)

第34条 本学に休学期間及び特別履修期間を除いて、4年以上在学し、本学則に定める授業科目及び単位数を修得した者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

2 卒業の期日は、3月31日又は9月30日とする。

(学位)

第35条 前条の規定に基づき、本学を卒業した者に対しては、学士の学位を授与する。

2 学位には、専攻分野の名称を付記するものとする。

3 前項の専攻分野の名称は、別に定める。

## 第7章 資格

(免許状・資格の種類)

第36条 本学において取得することができる免許状及び資格の種類は、次のとおりである。

人間科学部	人間心理学科	……………	中学校教諭一種免許状・社会
		……………	高等学校教諭一種免許状・公民
		……………	特別支援学校教諭一種免許状(知的障害者)
		……………	認定心理士(日本心理学会)
教育学部	教育福祉学科		
	福祉学専攻	……………	社会福祉士国家試験受験資格
		……………	保育士資格
	こども学専攻	……………	特別支援学校教諭一種免許状
			(知的障害者)(肢体不自由者)(病弱者)

- …………… 保育士資格
- …………… 幼稚園教諭一種免許状
- …………… 小学校教諭一種免許状
- 国際コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科
  - …………… 中学校教諭一種免許状・英語
  - …………… 高等学校教諭一種免許状・英語
- 保健医療学部 看護学科
  - …………… 保健師国家試験受験資格
  - …………… 助産師国家試験受験資格
  - …………… 看護師国家試験受験資格

(教員免許状の取得)

第 37 条 教員免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法及び同法施行規則に定める所定の授業科目を履修し、単位を修得しなければならない。

2 教員免許状を取得しようとする者は、別に定める実習指導料及び教育実習委託費を納入しなければならない。

3 その他、教員免許状を取得するために必要な事項は、別に定める。

第 38 条 (削除)

(認定心理士資格の取得)

第 39 条 認定心理士資格を取得しようとする者は、日本心理学会と人間科学部人間心理学科が定める所定の授業科目を履修し、単位を修得しなければならない。

2 その他、認定心理士資格を取得するために必要な事項は、別に定める。

(保育士資格の取得)

第 39 条の 2 保育士資格を取得しようとする者は、児童福祉法及び同法施行規則に定める所定の授業科目を履修し、単位を修得しなければならない。

2 その他、保育士資格を取得するために必要な事項は、別に定める。

(社会福祉士受験資格の取得)

第 39 条の 3 社会福祉士受験資格を取得しようとする者は、社会福祉士及び介護福祉士法並びに同法施行規則に定める所定の授業科目を履修し、単位を修得しなければならない。

2 その他、社会福祉士受験資格を取得するために必要な事項は、別に定める。

(社団法人日本社会福祉士養成校協会認定スクール(学校))ソーシャルワーク教育課程の設置

第 39 条の 4 本学に社団法人日本社会福祉士養成校協会認定スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程(以下、「認定課程」という。)をおく。

2 認定課程を修了し、社会福祉士の登録を受けた者については、本学が社団法人日本社会福祉士養成校協会に申請することにより、「社団法人日本社会福祉士養成校協会認定スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程修了者」として修了証の交付を受けることができる。

3 認定課程の履修等に関する事項は、別に定める。

第 39 条の 5 保健師国家試験受験資格、助産師国家試験受験資格及び看護師国家試験受験資格を取得しようとする者は、本学が定める所定の授業科目を履修し、単位を修得しなければならない。

2 その他、保健師国家試験受験資格、助産師国家試験受験資格及び看護師国家試験受験資格を取得するために必要な事項は、別に定める。

## 第 8 章 入学検定料、入学金、授業料等納付金

(入学検定料等の金額)

第 40 条 本学の入学検定料、入学金、授業料等の金額は別表第 3 のとおりとする。

(授業料等の納入期)

第 41 条 授業料等は年額の 2 分の 1 ずつを次の 2 期に分けて納入しなければならない。

区 分	納 入 期
1 期（4 月から 9 月まで）	4 月中
2 期（10 月から翌年 3 月まで）	10 月中

2 やむを得ない事情によって、授業料等の分納・延納を希望する学生の取扱いについては、別に定める。

（退学及び停学の場合の授業料等）

第 42 条 学期の途中で退学し又は停学となった者の当該納入期分の授業料及び教育改善費は納入しなければならない。

2 停学期間中の授業料及び教育改善費は納入しなければならない。

（休学の場合の授業料等）

第 43 条 休学を許可され又は命ぜられた者については、休学した月の翌月から復学する月の前月までの期間、授業料を納入するものとする。ただし、この場合の授業料の額は、年額で 18 万円とし、その 12 分の 1 をもって月額として算定する。

（復学の場合の授業料等）

第 44 条 復学を許可された者については、復学した月から授業料等を納入するものとする。ただし、この場合の授業料等の額は、第 40 条に定める授業料等（年額）の 12 分の 1 をもって月額として算定する。

（学年の途中で卒業する場合の授業料等）

第 45 条 学年の途中で卒業する者は、卒業する見込みの月までの授業料等を納入するものとする。ただし、この場合の授業料等の額は、第 44 条但書に準ずるものとする。

（納入した授業料等）

第 46 条 納入した入学検定料、入学金及び授業料等は、原則として返還しない。

（科目等履修生の入学検定料及び授業料等）

第 47 条 科目等履修生の入学検定料及び授業料等については、別に定める。

## 第 9 章 教職員組織

（職員組織）

第 48 条 本学に学長、学部長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、技術職員その他必要な職員を置く。

2 本学に、副学長、学長補佐を置くことができる。

## 第 10 章 教授会、大学協議会及び委員会

（教授会）

第 49 条 本学の学部に、それぞれ教授会を置く。

2 教授会は、教授、准教授、専任講師及び助教をもって構成する。

3 教授会は、学長が意思決定を行うために掲げる次の事項について審議し、意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項

(2) 学位の授与に関する事項

(3) 前二号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

4 教授会は、前項が規定するもののほか、教育研究に関する事項について審議し、及び学長の求めに応じ、意見を述べることができる。

5 第 3 項第 3 号については、学長裁定により別に定める。

6 本条に定めるもののほか、教授会に関して必要な事項は、別に定める。

（大学協議会）

第 50 条 本学に、大学協議会を置く。

- 2 大学協議会は、学長、副学長、学長補佐、大学院研究科長、学部長、学長の指名する委員長、大学事務局長、大学事務局次長、部長及び学長の指名する職員をもって構成する。
- 3 大学協議会は、学長が意思決定を行うために掲げる次の事項について審議する。
  - (1) 学則その他学内諸規程の制定及び改廃に関する事項
  - (2) 教育・研究計画に関する事項
  - (3) 教員人事の基準に関する事項
  - (4) 学生の厚生補導及びその身分に関する事項
  - (5) 全学的及び学部間の連絡調整に関する事項
  - (6) その他、教育研究に関し学長が意見を求める事項
- 4 本条に定めるもののほか、大学協議会に関して必要な事項は、別に定める。  
(委員会)

第 50 条の 2 本学に委員会を置く。

- 2 委員会に関することは、別に定める。

## 第 11 章 研究生、科目等履修生、聴講生及び外国人留学生

(研究生)

第 51 条 本学において特定の事項について研究をすることを志願する者があるときは、選考の上、研究生として学長が入学を許可することがある。

- 2 その他、研究生に関し必要な事項は、別に定める。

(科目等履修生)

第 52 条 本学において特定の授業科目を履修することを志願する者があるときは、本学の教育に支障がない限りにおいて選考の上、科目等履修生として学長が履修を許可することがある。

- 2 科目等履修生には第 25 条、第 26 条及び第 27 条に基づき、本学の正規の単位及び評価を与える。
- 3 その他、科目等履修生に関して必要な事項は、別に定める。

(聴講生)

第 53 条 本学において特定の授業科目を受講することを志願する者があるときは、本学の教育に支障がない限りにおいて選考の上、聴講生として学長が受講を許可することがある。

- 2 聴講生は、当該科目を受講した場合も単位を取得することはできない。
- 3 その他、聴講生に関して必要な事項は、別に定める。

(外国人留学生)

第 54 条 外国人で大学等において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者は、選考の上、外国人留学生として学長が入学を許可することがある。

- 2 その他、外国人留学生について必要な事項は、別に定める。

## 第 12 章 賞 罰

(表彰)

第 55 条 学生として表彰に値する行為があった者は、学長が表彰する。

(罰則)

第 56 条 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、教授会の議を経て学長が懲戒する。

- 2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。
- 3 前項の退学は次の各号の一に該当する学生に対して行う。
  - (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
  - (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
  - (3) 正当な理由なくして出席常でない者
  - (4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者



## 第13章 学生寮

### (学生寮)

第57条 本学に学生寮を置く。

2 学生寮に関して必要な事項は、別に定める。

## 第14章 公開講座

### (公開講座)

第58条 社会人の教養を高め、文化の向上に資するため本学に公開講座を開設することができる。

2 その他、公開講座について必要な事項は、別に定める。

### 附 則

この学則は、平成10年4月1日から施行する。

### 附 則

1 この学則は、平成12年4月1日から施行する。

2 第3条の規定による経営学部経営学科の収容定員は、平成12年度から平成14年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科		年 度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
			収容定員	収容定員	収容定員
経営学部	経営学科		1,000人	1,100人	1,200人

### 附 則

1 この学則は、平成13年4月1日から施行する。

2 第3条の規定による人間学部人間行動学科及び英語コミュニケーション学科の収容定員は、平成13年度から平成15年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科		年 度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
			収容定員	収容定員	収容定員
人間学部	人間行動学科		200人	400人	600人
	英語コミュニケーション学科		100人	200人	300人

3 第4条の規定による短期大学部は、平成13年3月31日に短期大学部に在学する者が短期大学部に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

### 附 則

この学則は、平成14年4月1日から施行する。

### 附 則

この学則は、平成15年4月1日から施行する。

### 附 則

1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。

2 第3条の規定による経営学部経営学科及び総合ビジネス学科の収容定員は、平成16年度から平成19年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科		年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
			収容定員	収容定員	収容定員	収容定員
経営学部	経営学科		850人	550人	200人	0人
	総合ビジネス学科		150人	300人	500人	700人

附 則

- 1 この学則は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 条の規定による経営学部総合ビジネス学科、人間学部人間行動学科及び英語コミュニケーション学科の収容定員は、平成 17 年度から平成 20 年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科		年 度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
			収容定員	収容定員	収容定員	収容定員
経営学部	総合ビジネス学科		300人	480人	660人	660人
	(うち3年次編入学)		0人	30人	60人	60人
人間学部	人間行動学科		800人	800人	800人	800人
	英語コミュニケーション学科		350人	300人	250人	200人

- 3 平成 16 年 3 月 31 日に経営学部におかれている学科は、改正後の関西国際大学学則の規定にかかわらず平成 16 年 3 月 31 日に当該学科に在学する者（以下この項に置いて「在学者」という。）及び平成 16 年 4 月 1 日 以後において在学者の属する年次に転入学、編入学又は再入学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 4 前 2 項に定めるもののほか、平成 16 年 3 月 31 日に経営学部におかれている学科の編入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科		年 度	平成 17 年度	平成 18 年度
経営学部	経営学科		3年次編入学定員 30人	3年次編入学定員 0人

附 則

- 1 この学則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 条の規定による人間学部人間行動学科、人間心理学科及び教育福祉学科の収容定員は、平成 18 年度から平成 21 年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科		年 度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
			収容定員	収容定員	収容定員	収容定員
人間学部	人間行動学科		600人	400人	200人	0人
	人間心理学科		100人	200人	300人	400人
	教育福祉学科		100人	200人	300人	400人

附 則

- 1 この学則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

- 2 第3条の規定による人間科学部ビジネス行動学科及び人間心理学科、教育学部教育福祉学科及び英語教育学科、人間学部人間行動学科、人間心理学科及び教育福祉学科、経営学部総合ビジネス学科の収容定員は、平成19年度から平成22年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科		年 度			
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
		収容定員	収容定員	収容定員	収容定員
人間科学部	ビジネス行動学科	150人	300人	450人	600人
	人間心理学科	115人	230人	345人	460人
教育学部	教育福祉学科	100人	200人	300人	400人
	英語教育学科	50人	100人	150人	200人
人間学部	人間行動学科	400人	200人	0人	0人
	人間心理学科	100人	100人	100人	0人
	教育福祉学科	100人	100人	100人	0人
	英語コミュニケーション学科	200人	100人	50人	0人
経営学部	総合ビジネス学科	510人	330人	150人	0人

附 則

- この学則は、平成20年4月1日から施行する。
- 第35条及び第36条の規定にかかわらず、改正前の学則による人間学部及び経営学部の各学科の学生が在籍する間の当該学生に関しては改正（平成19年4月1日）前の学則を適用する。

附 則

この学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

- この学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 第35条については、平成19年度以降の入学生に対し適用する。

附 則

- この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 第35条及び第36条の規定にかかわらず、改正前の学則による人間科学部ビジネス行動学科の学生が在籍する間の当該学生に関しては、改正（平成23年4月1日）前の学則を適用する。
- 第3条の規定による人間科学部経営学科、ビジネス行動学科及び人間心理学科、教育学部教育福祉学科及び英語教育学科の収容定員は、平成23年度から平成26年度までの間、次のとおりとする。

学部・学科		年 度			
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
		収容定員	収容定員	収容定員	収容定員
人間科学部	経営学科	150人	300人	450人	600人
	ビジネス行動学科	450人	300人	150人	0人
	人間心理学科	460人	460人	460人	460人
教育学部	教育福祉学科	600人	600人	600人	600人
	英語教育学科	200人	200人	200人	200人

附 則

- 1 この学則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 本学における平成 24 年度から平成 27 年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科		年 度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
			収容定員	収容定員	収容定員	収容定員
人間科学部	経営学科		250人	370人	490人	440人
	ビジネス行動学科		300人	150人	0人	0人
	人間心理学科		470人	480人	490人	500人
教育学部	教育福祉学科		600人	600人	600人	600人
	英語教育学科		200人	200人	200人	200人

附 則

この学則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 27 年 6 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 27 年 11 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 30 年 9 月 1 日から施行する。ただし、改正後の第 19 条及び第 22 条については、この学則の施行日において本学に在籍する学生に対し適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 人間科学部経営学科及び教育学部英語教育学科の学生が在籍する間の当該学生に関しては、改正（平成 31 年 4 月 1 日）前の学則を適用する。
- 3 第 3 条の規定による人間科学部経営学科、人間心理学科、教育学部教育福祉学科、英語教育学科保健医療学部看護学科、経営学部経営学科、国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科の、平成 31 年度から平成 34 年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科		年 度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年
			収容定員	収容定員	収容定員	収容定員
人間科学部	経営学科		340人	240人	120人	0
	人間心理学科		500人	500人	500人	500人
教育学部	教育福祉学科		600人	600人	600人	600人
	英語教育学科		150人	100人	50人	0
保健医療学部	看護学科		320人	320人	320人	320人
経営学部	経営学科		100人	200人	320人	440人
国際コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科		50人	100人	150人	200人

別表第1-1 経営学部経営学科

授業科目 の区分等		授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考				
			必修	選択						
基礎 科目	基礎 科目	経営学概論	4		} 20単位					
		経済学概論	4							
		マーケティング	4							
ファイナンス		4								
ビジネス統計学		4								
基 幹 科 目	基 幹 科 目	地域経営概論		2	} 選択必修8単位以上					
		公共サービス論		2						
		コミュニティビジネス		2						
		地域マネジメント		4						
		セーフティマネジメント論		2						
		危機管理入門		2						
		企業危機管理論		2						
		防災・復興組織論		2						
		ホスピタリティマネジメント		4						
		観光産業論		2						
		アジア文化論		2						
		専 門 教 育 科 目	展 開 科 目	インバウンドツーリズム産業論				2	} 30単位以上	
				サービス企画論				2		
ビジネスプロモーション				2						
ビジネスコミュニケーション技法				2						
コンプライアンス				2						
顧客満足論				2						
発想法				2						
観光実務論				2						
観光産業特論				2						
観光実務特論				2						
インバウンド商品企画演習				2						
実用英語A				2						
実用英語B				2						
ホテルマネジメント				2						
ビューティビジネス論				2						
ビューティ技術論				2						
ビューティ・コーディネーター論				2						
コスメティック論				2						
ブライダル産業論				2						
セレモニー産業論				2						
セレモニー産業特論				2						
地域マネジメント特論				2						
環境保全論				2						
公共サービス特論				2						
危機管理・防災演習				2						
危機管理リーダーシップ論				2						
コミュニティ防災				2						
国際防災協力				2						
安全安心社会特論				2						
フードセキュリティ				2						
マーケティングリサーチ				2						
インターネットマーケティング				2						
国際経済論				2						
アジアマーケティング論				2						
経営戦略論				2						
商業簿記				2						
経営組織論				2						
財務会計論		2								
国際経営論		2								
原価会計		2								
経営分析		2								
広告論		2								
産業心理学		2								
インターンシップ I		2								
インターンシップ II		4								

別表第1-1 経営学部経営学科

授業科目 の区分等		授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考	
			必修	選択			
専門 教育 科目	総合 演習 科目	業界研究		2	} 20単位		
		プロジェクトマネジメント演習Ⅰ		2			
プロジェクトマネジメント演習Ⅱ		2					
プロジェクトマネジメント演習Ⅲ		4					
プロジェクトマネジメント演習Ⅳ		4					
マネジメント専門演習		2					
卒業研究		4					
基盤 教育 科目	ベー シ ッ ク ス	評価と実践Ⅰ	1		} 必修8単位		
		評価と実践Ⅱ	1				
		リーダーシップ演習		1			
		仕事とキャリア形成Ⅰ	2				
		仕事とキャリア形成Ⅱ		2			
		初年次セミナー	1				
		基礎演習	1				
		学習技術	1				
		リサーチ入門	1				
		コ モ ン ベ ー シ ッ ク ス	第1 外 国 語	基礎英語			
	総合英語Ⅰ				2		
	総合英語Ⅱ				2		
	オーラルイングリッシュⅠ				1		
	オーラルイングリッシュⅡ				1		
	オーラルイングリッシュⅢ			1			
	インテンシブイングリッシュⅠ			1			
	インテンシブイングリッシュⅡ			1			
	英語Ⅰ			4			
	英語Ⅱ			4			
	英語Ⅲ		4				
英語Ⅳ		4					
第2 外 国 語	中国語Ⅰ		2				
	中国語Ⅱ		2				
	韓国・朝鮮語Ⅰ		2				
	韓国・朝鮮語Ⅱ		2				
	マレー語		1				
インドネシア語		1					
留 学 生 対 象	留 学 生 対 象	日本語Ⅰ		2	} 選択必修 10単位以上  日本語能力試験N1の 合格者は10単位中2単 位を認定、8単位履修		
		日本語Ⅱ		2			
		日本語Ⅲ		2			
		日本語Ⅳ		2			
		日本語Ⅴ		2			
		アカデミック日本語Ⅰ		1			
		アカデミック日本語Ⅱ		1			
		日本語ライティングⅠ		1			
		日本語ライティングⅡ		1			
		ビジネス日本語Ⅰ		1			
		ビジネス日本語Ⅱ		1			
		専門日本語Ⅰ		1			
		専門日本語Ⅱ		1			
情 報	情 報	ICTリテラシー	2		} 必修科目含み2 単位以上		
		ICT活用A		2			
		ICT活用B		2			
		ICT活用C		2			
ポ ー ツ	健 康 と ス ポ ー ツ	生涯スポーツⅠ		1			
		生涯スポーツⅡ		1			

別表第1-1 経営学部経営学科

授業科目 の区分等	授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考		
		必修	選択				
基盤教育科目	リベラルアーツ	人間の理解	人間学Ⅰ	2	} 必修科目含み4 単位以上		
			人間学Ⅱ	2			
			倫理と社会生活	2			
			人権と法	2			
		社会と生活	近現代の歴史		2		} 選択必修 2単位以上
			日本国憲法		2		
			国際社会と政治		2		
			社会階層と文化		2		
		科学と生活	環境と生活		2		} 選択必修 2単位以上
			データサイエンス		2		
			生命と倫理		2		
			情報と社会		2		
	グローバルスタディ	グローバルスタディⅠ		1		※ ※ ※	
		グローバルスタディⅡ		2			
		グローバルスタディⅢ		3			
		地域研究(北米圏)		2			
		地域研究(アジア圏)		2			
		日本事情		2			
		日本文化論		2			
		コミュニティスタディ	サービスラーニングA				1
	サービスラーニングB			2			
地域防災減災論			2				
災害と安全			2				
ボランティア論			2				
特別研究	特別研究Ⅰ		1				
	特別研究Ⅱ		2				
	特別研究Ⅲ		3				
	特別研究Ⅳ		4				
課題研究	課題研究Ⅰ		4				
	課題研究Ⅱ		8				
	課題研究Ⅲ		12				
	課題研究Ⅳ		16				

ただし、専門教育科目、基盤教育科目および選択としての上記以外の科目を合わせて、126 単位以上を修得しなければならない。

※を付した科目から2単位以上を修得しなければならない。

同表に定めるほか、グローバルスタディ及びコミュニティスタディ科目の履修及び修得単位等の詳細は別に定める。

KUISオナーズプログラムの履修及び修得単位等の詳細は別に定める。

別表第1-2 人間科学部人間心理学科

授業科目 の区分等		授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考
			必修	選択		
基 礎 科	心理学入門	4		} 10単位		
	心理学概論	4				
統計学Ⅰ	2					
専 門 教 育 科 目	心理学研究法	4		} 20単位以上		
	心理学実験		4			
	臨床心理学概論		4			
	司法・犯罪心理学		4			
	スポーツ心理学		4			
	社会学概論		2			
	教育学概論		2			
	犯罪学概論		2			
	社会福祉概論		2			
	健康・医療心理学		2			
	教育・学校心理学		2			
	発達心理学		2			
	学習・言語心理学		2			
	知覚・認知心理学		2			
	社会・集団・家族心理学		2			
	精神疾患とその治療		2			
	社会調査論Ⅰ		2			
	社会調査論Ⅱ		2			
	心理学統計法		2			
	コミュニケーション演習		2			
産業・組織心理学		4				
公認心理師の職責		2				
障害者(児)心理学		2				
展 開 科 目	環境心理学		2	} 46単位以上		
	神経・生理心理学		2			
	災害心理学		2			
	心理演習		4			
	心理学的支援法		4			
	感情・人格心理学		2			
	心理的アセスメント		4			
	教育相談		2			
	福祉心理学		2			
	人体の構造と機能及び疾病		2			
	関係行政論		2			
	心理実習		3			
	犯罪関連法論		4			
	捜査心理学		2			
	犯罪・災害報道論		2			
	スポーツ社会学		2			
	スポーツ科学		4			
生涯スポーツ論		2				



別表第1-2 人間科学部人間心理学科

授業科目 の区分等		授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考
			必修	選択		
専 門 教 育 科 目	展 開 科 目	メンタルトレーニング		2		
		応用犯罪心理学		2		
		顧客満足論		2		
		スポーツコーチング論		2		
		スポーツコーチング実習		1		
		現代社会論		2		
		現代家族論		2		
		教育社会学		2		
		統計学Ⅱ		2		
		データ解析		2		
		質的調査法		2		
		社会調査演習		4		
		外書講読		2		
		近代社会論		2		
		法律学概論		2		
		日本文化史		2		
		日本史概説		2		
		外国史概説		2		
		地理学		2		
		人文地理		2		
		経済学		2		
		国際経済論		2		
		マーケティング		4		
		障害者教育総論		2		
		障害児教育論		2		
		障害児教育課程論		2		
		知的障害教育総論		2		
		知的障害者の自立活動の理論と実際		2		
		知的障害者の心理		2		
		知的障害者の生理・病理		2		
		知的障害教育Ⅰ		2		
		知的障害教育Ⅱ		2		
		知的障害者の言語障害指導		2		
		知的障害児における情報機器等の活用と指導		2		
重複障害・LD等教育総論		2				
教育実習(特別支援学校)		3				
国際防災協力		2				
セーフティマネジメント論		2				
防災教育		2				
コミュニティ防災		2				
復興論		2				
ファシリテーション演習		2				

別表第1-2 人間科学部人間心理学科

授業科目 の区分等		授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考
			必修	選択		
専門 教育 科目	総合 演習	専門演習Ⅰ	2		} 必修12単位	※ ※ ※
		専門演習Ⅱ	2			
		専門演習Ⅲ	2			
		専門演習Ⅳ	2			
		卒業研究	4			
		インターンシップⅠ		1		
		インターンシップⅡ		2		
		インターンシップⅢ		4		
基盤 教育 科目	ベ ー シ ッ ク ス	評価と実践Ⅰ	1		} 必修10単位	
		評価と実践Ⅱ	1			
		リーダーシップ演習		1		
		仕事とキャリア形成Ⅰ	2			
		仕事とキャリア形成Ⅱ	2			
		初年次セミナー	1			
		基礎演習	1			
		学習技術	1			
		リサーチ入門	1			
	第1 外 国 語	基礎英語		2	} 選択必修 8単位以上 (第1外国語 から5単位以 上) (留学生は選	
		総合英語Ⅰ		2		
		総合英語Ⅱ		2		
		オーラルイングリッシュⅠ		1		
		オーラルイングリッシュⅡ		1		
		オーラルイングリッシュⅢ		1		
		インテンシブイングリッシュⅠ		1		
		インテンシブイングリッシュⅡ		1		
		英語Ⅰ		4		
		英語Ⅱ		4		
		英語Ⅲ		4		
		英語Ⅳ		4		
	第2 外 国 語	中国語Ⅰ		2	}	
		中国語Ⅱ		2		
		韓国・朝鮮語Ⅰ		2		
		韓国・朝鮮語Ⅱ		2		
		マレー語		1		
		インドネシア語		1		
	留 学 生 対 象	日本語Ⅰ		2	} 選択必修10単位以上  日本語能力試験N1の 合格者は10単位中2 単位を認定、8単位履 修	
日本語Ⅱ			2			
日本語Ⅲ			2			
日本語Ⅳ			2			
日本語Ⅴ			2			
アカデミック日本語Ⅰ			1			
アカデミック日本語Ⅱ			1			
日本語ライティングⅠ			1			
日本語ライティングⅡ			1			
ビジネス日本語Ⅰ			1			
ビジネス日本語Ⅱ			1			
専門日本語Ⅰ			1			
専門日本語Ⅱ		1				
情 報	ICTリテラシー	2		} 必修科目含み2 単位以上		
	ICT活用A		2			
	ICT活用B		2			
	ICT活用C		2			
健 康 と ス ポ ー ツ	生涯スポーツⅠ		1	}		
	生涯スポーツⅡ		1			

別表第1-2 人間科学部人間心理学科

授業科目 の区分等	授 業 科 目		単位数		卒業要件単位数	備 考		
			必修	選択				
基盤教育科目	リベラルアーツ	人間学Ⅰ	2	}	必修科目含み 6単位以上			
		人間学Ⅱ	2					
		倫理と社会生活 教育と人間形成	2					
		比較宗教論	2					
		人権と法	2					
		社会と生活	近現代の歴史		2	}	選択必修 2単位以上	
			社会階層と文化		2			
			国際社会と政治		2			
			日本国憲法		2			
		科学と生活	データサイエンス		2	}	選択必修 2単位以上	
			環境と生活		2			
			生命と倫理		2			
	情報と社会		2					
	食と健康		2					
	グローバルスタディ		1		※ ※ ※			
	グローバルスタディⅡ		2					
	グローバルスタディⅢ		3					
	地域研究(北米圏)		2					
	地域研究(アジア圏)		2					
	日本事情		2					
	日本文化論		2					
	コミュニティ		1		※ ※			
	サービスラーニングA		2					
	サービスラーニングB		2					
	ボランティア論		2					
	災害と安全 地域防災減災論		2					
	特別研究Ⅰ		1					
	特別研究Ⅱ		2					
	特別研究Ⅲ		3					
	特別研究Ⅳ		4					
	課題研究Ⅰ		4					
	課題研究Ⅱ		8					
	課題研究Ⅲ		12					
	課題研究Ⅳ		16					

ただし、専門教育科目、基盤教育科目および選択としての上記以外の科目を合わせて、126 単位以上を修得しなければならない。

※を付した科目から2単位以上を修得しなければならない。

同表に定めるほか、グローバルスタディ及びコミュニティスタディ科目の履修及び修得単位等の詳細は別に定める。

KUISオーナーズプログラムの履修及び修得単位等の詳細は別に定める。

別表第1-3 教育学部教育福祉学科

授業科目 の区分等		授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考	
			必修	選択			
専 門 教 育 科 目	基 礎 科 目	教育学概論	2		} 6単位		
		心理学概論 I	2				
		社会学概論	2				
	基 幹 科 目		統計学 I		2		} 20単位以上
			臨床心理学 I		2		
			発達心理学		2		
			教育心理学		2		
			公教育論		2		
			児童家庭福祉		2		
			教育相談		2		
			社会福祉概論 I		2		
			社会福祉概論 II		2		
			障害者福祉論		2		
			老人福祉論		4		
			社会保障論		4		
			社会福祉援助技術論 I		4		
			保育原理		2		
			社会的養護		2		
			保育内容総論		1		
			保育内容・健康		1		
			保育内容・人間関係		1		
			保育内容・環境		1		
			保育内容・言葉		1		
			保育内容・表現 I		1		
			保育内容・表現 II		1		
			幼児教育方法論		2		
			保育者論		2		
			初等国語科教育法		2		
			初等社会科教育法		2		
			初等算数科教育法		2		
			初等理科教育法		2		
			初等生活科教育法		2		
			初等音楽科教育法		2		
初等図画工作科教育法		2					
初等家庭科教育法		2					
初等体育科教育法		2					
幼児理解		2					
生徒・進路指導論		2					
教職概論		2					
教職特論		2					

別表第1-3 教育学部教育福祉学科

授業科目 の区分等		授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考
			必修	選択		
専 門 教 育 科 目	展 開 科 目	精神保健学		2		
		医学一般		2		
		こども発達学		2		
		教育社会学		2		
		子どもの保健Ⅰ		2		
		子どもの保健Ⅱ		1		
		社会福祉基礎		2		
		地域福祉論		2		
		公的扶助論		2		
		介護概論		2		
		社会調査論Ⅰ		2		
		社会福祉援助技術論Ⅱ		4		
		社会福祉援助技術論Ⅲ		4		
		相談援助		1		
		相談援助演習Ⅰ		2		
		相談援助演習Ⅱ		2		
		相談援助演習Ⅲ		2		
		相談援助実習指導Ⅰ		2		
		相談援助実習指導Ⅱ		2		
		相談援助実習指導Ⅲ		2		
		社会福祉援助技術現場実習		4		
		福祉行財政と福祉計画		2		
		福祉サービスの組織と経営		2		
		保健医療サービス		2		
		就労支援サービス		2		
		更生保護制度		2		
		権利擁護と成年後見制度		2		
		子どもの食と栄養		2		
		家庭支援論		2		
		乳児保育Ⅰ		2		
		乳児保育Ⅱ		1		
		障害児保育Ⅰ		1		
		障害児保育Ⅱ		1		
		社会的養護内容		1		
		体育指導Ⅰ		1		
		体育指導Ⅱ		1		
		造形Ⅰ		1		
		造形Ⅱ		1		
		音楽Ⅰ・器楽		1		
		音楽Ⅱ・器楽		1		
		音楽Ⅲ・伴奏法		1		
音楽Ⅳ・器楽		1				
音楽Ⅴ・声楽及び理論		1				
音楽Ⅵ・器楽及び指導法		1				
音楽Ⅶ・器楽		1				
音楽Ⅷ・器楽		1				
言語表現技術		1				

別表第1-3 教育学部教育福祉学科

授業科目 の区分等	授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考
		必修	選択		
専 門 展 開 教 育 科 目	保育実習Ⅰ事前事後指導①		1	48単位以上	
	保育実習Ⅰ事前事後指導②		1		
	保育実習Ⅱ事前事後指導		1		
	保育実習Ⅲ事前事後指導		1		
	保育実習Ⅰ(保育所)		2		
	保育実習Ⅰ(施設)		2		
	保育実習Ⅱ		2		
	保育実習Ⅲ		2		
	幼児指導法		2		
	保育実践観察法		1		
	子どもの家庭支援の心理学		2		
	保育心理学演習		1		
	初等学校経営論		2		
	教育制度論		2		
	初等教育方法論		2		
	初等教育課程論		2		
	道徳教育の指導法		2		
	初等英語教育研究		2		
	インターンシップⅠ		2		
	インターンシップⅡ		2		
	インターンシップⅢ		2		
	特別活動の指導法		2		
	ボランティア実習		2		
	保育課程論		2		
	初等情報機器活用論		2		
	図画工作Ⅰ		1		
	図画工作Ⅱ		1		
	体育講義		2		
	国語Ⅰ		2		
	国語Ⅱ		2		
	社会Ⅰ		2		
	社会Ⅱ		2		
	算数Ⅰ		2		
	算数Ⅱ		2		
	理科Ⅰ		2		
	理科Ⅱ		2		
生活		2			
家庭		2			
幼稚園教育実習Ⅰ		2			
幼稚園教育実習Ⅱ		2			
幼稚園教育実習事前事後指導		1			
小学校教育実習Ⅰ		2			
小学校教育実習Ⅱ		2			
教育実習事前事後指導		1			

別表第1-3 教育学部教育福祉学科

授業科目 の区分等	授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考
		必修	選択		
専 門 教 育 科 目	展 開 科 目	教職実践演習(幼)		2	
		教職実践演習(小)		2	
		福祉科教育法Ⅰ		2	
		福祉科教育法Ⅱ		2	
		障害者教育総論		2	
		知的障害者の言語障害指導		2	
		知的障害者の自立活動の理論と実際		2	
		知的障害児における情報機器等の活用と指導		2	
		知的障害教育総論		2	
		障害児教育論		2	
		教育実習(特別支援学校)		3	
		知的障害者の心理・生理・病理		2	
		肢体不自由者の心理・生理・病理		2	
		病弱者の心理・生理・病理		2	
		知的障害教育		2	
		肢体不自由教育		2	
		病弱教育		2	
		肢体不自由教育総論		2	
		病弱教育総論		2	
		重複障害教育総論		2	
		LD等教育総論		2	
		聴覚障害・視覚障害教育総論		2	
		スクールソーシャルワーク論		2	
		スクールソーシャルワーク演習		1	
		スクールソーシャルワーク実習指導		1	
		スクールソーシャルワーク実習		2	
		英語発音クリニック		2	
		児童英語		2	
		板書技術		2	
		防災教育		2	
		特別支援教育総論		2	
		総合的な学習の時間の指導法		1	
		外国語		2	
外国語の指導法		2			
総 合 演 習	専門演習Ⅰ	2	} 必修12単位		
	専門演習Ⅱ	2			
	専門演習Ⅲ	2			
	専門演習Ⅳ	2			
	卒業研究	4			

別表第1-3 教育学部教育福祉学科

授業科目 の区分等	授 業 科 目		単位数		卒業要件単位数	備 考	
			必修	選択			
基盤教育科目	ベ ー シ ッ ク ス  K U I S	評価と実践Ⅰ	1	1	} 必修10単位		
		評価と実践Ⅱ	1				
		リーダーシップ演習					
		仕事とキャリア形成Ⅰ	2				
		仕事とキャリア形成Ⅱ	2				
		初年次セミナー	1				
		基礎演習	1				
		学習技術	1				
		リサーチ入門	1				
	コ モ ン ベ ー シ ッ ク ス	第1外国語	基礎英語		2	} 選択必修 7単位以上 (第1外国語か ら5単位以上) (留学生は選択 科目)	
			総合英語Ⅰ		2		
			総合英語Ⅱ		2		
			オーラルイングリッシュⅠ		1		
			オーラルイングリッシュⅡ		1		
オーラルイングリッシュⅢ				1			
インテンシブイングリッシュⅠ				1			
インテンシブイングリッシュⅡ				1			
英語Ⅰ				4			
英語Ⅱ			4				
英語Ⅲ		4					
英語Ⅳ		4					
第2外国語	中国語Ⅰ		2				
	中国語Ⅱ		2				
留 学 生 対 象	韓国・朝鮮語Ⅰ		2				
	韓国・朝鮮語Ⅱ		2				
	マレー語		1				
	インドネシア語		1				
	日本語Ⅰ		2				
	日本語Ⅱ		2				
	日本語Ⅲ		2				
	日本語Ⅳ		2				
	日本語Ⅴ		2				
	アカデミック日本語Ⅰ		1				
アカデミック日本語Ⅱ		1					
日本語ライティングⅠ		1					
日本語ライティングⅡ		1					
ビジネス日本語Ⅰ		1					
ビジネス日本語Ⅱ		1					
専門日本語Ⅰ		1					
専門日本語Ⅱ		1					
情 報	ICTリテラシー	2		} 必修科目含 み2単位以上			
	ICT活用A		2				
	ICT活用B		2				
	ICT活用C		2				
健 康 と ス ポ ー ツ	生涯スポーツⅠ		1				
	生涯スポーツⅡ		1				



別表第1-3 教育学部教育福祉学科

授業科目 の区分等	授 業 科 目		単位数		卒業要件単位数	備 考			
			必修	選択					
基盤教育科目	リベラルアーツ	人間の理解	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ 倫理と社会生活 教育と人間形成 比較宗教論 人権と法	2 2	2 2 2 2	必修科目含み 6単位以上			
		社会と生活	近現代の歴史 社会階層と文化 国際社会と政治 日本国憲法		2 2 2 2		選択必修 2単位以上		
		科学と生活	データサイエンス 環境と生活 生命と倫理 情報と社会 食と健康		2 2 2 2 2			選択必修 2単位以上	
		グローバルスタディ	グローバルスタディⅠ グローバルスタディⅡ グローバルスタディⅢ 地域研究(北米圏) 地域研究(アジア圏) 日本事情 日本文化論		1 2 3 2 2 2 2				選択必修 1単位以上
		コミュニティスタディ	サービスラーニングA サービスラーニングB ボランティア論 災害と安全 地域防災減災論		1 2 2 2 2		選択必修 1単位以上 (専門科目の該当科目を含む)		
		特別研究	特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ 特別研究Ⅳ		1 2 3 4				
		課題研究	課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ 課題研究Ⅲ 課題研究Ⅳ		4 8 12 16				

ただし、専門教育科目、基盤教育科目および選択としての上記以外の科目を合わせて、126 単位以上を修得しなければならない。

同表に定めるほか、グローバルスタディ及びコミュニティスタディ科目の履修及び修得単位等の詳細は別に定める。

KUISオナーズプログラムの履修及び修得単位等の詳細は別に定める。

別表第1-4 国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科

授業科目 の区分等	授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考
		必修	選択		
専 門 教 育 科 目	基礎科目	英語基礎1		2	必修16単位 選択必修4単位以上
		リーディング1		2	
		ライティング1		2	
		オーラル・コミュニケーション1		2	
		英語基礎2		2	
		リーディング2		2	
		ライティング2		2	
		オーラル・コミュニケーション2		2	
		英語総合1	2		
		リーディング総合1	2		
	ライティング総合1	2			
	アドバンスト・コミュニケーション1	2			
	英語総合2	2			
	リーディング総合2	2			
	ライティング総合2	2			
	アドバンスト・コミュニケーション2	2			
	アカデミック英語		2		
	グローバル事情		2		
	総合英語Ⅰ		2		
	総合英語Ⅱ		2		
総合英語Ⅲ		2			
総合英語Ⅳ		2			
インテンシブイングリッシュⅠ		1			
インテンシブイングリッシュⅡ		1			
インテンシブイングリッシュⅢ		1			
基 幹 科 目	異文化理解	2		必修6単位 選択必修4単位以上	
	経済学基礎	2			
	国際関係	2			
	アジア研究		2		
	日本研究		2		
	言語と文化		2		
	文化人類学		2		
	経営学概論		4		
展 開 科 目	課題研究(グローバルリサーチ)	16		GS科目	
	日本のポップカルチャー		2		
	日本文学		2		
	経済学概論		4		
	マーケティング		4		
	ファイナンス		4		
	実践ビジネス英語Ⅰ		2		
	実践ビジネス英語Ⅱ		2		
	ビジネスプレゼンテーション		2		
	ホスピタリティマネジメント		4		
	ビジネスマナー		2		
	航空実務		4		
ホテル実務		4			
ツーリズム事情Ⅰ		2			
ツーリズム事情Ⅱ		2			

別表第1-4 国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科

授業科目 の区分等	授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数			備 考
		必修	選択				
専 門 教 育 科 目	展 開 科 目	ツアーガイド実務		4	基礎・基幹・展開科目から 32単位以上	選択29単位以上	
		通訳入門		2			
		サービスラーニングⅠ		2			CS科目
		サービスラーニングⅡ		2			CS科目
		インターンシップⅠ		1			CS科目
		インターンシップⅡ		2			CS科目
		インターンシップⅢ		4			CS科目
		言語学概論		2			
		日本語の構造Ⅰ		2			
		日本語の構造Ⅱ		2			
		日本語教育事情		2			
		日本語コミュニケーション		2			
		日本語教授法		2			
		日本語教育の実践と評価		2			
		英語音声学		2			
		英語学Ⅰ		2			
		英語学Ⅱ		2			
		英米文学概論		2			
		英語科教育法Ⅰ		2			
		英語科教育法Ⅱ		2			
		英語科教育法Ⅲ		2			
		英語科教育法Ⅳ		2			
		教育学概論		2			
		教職概論		2			自由科目
		教育社会学		2			
		学校経営論		2			
		教育制度論		2			
		教育心理学		2			
		発達心理学		2			
		特別支援教育基礎		1			自由科目
		教育課程論		2			自由科目
		道德教育の指導法		2			自由科目
		総合的な学習の時間の指導法		1			自由科目
		特別活動の指導法		2			自由科目
教育方法論		2	自由科目				
教育相談		2					
生徒・進路指導論		2	自由科目				
教育実習Ⅰ		5	自由科目				
教育実習Ⅱ		3	自由科目				
教職実践演習(中・高)		2	自由科目				

別表第1-4 国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科

授業科目 の区分等		授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数		備 考	
			必修	選択				
専 門 教 育 科 目	展 開 科 目	ボランティア実習		2			自由科目	
		英文法研究		2				
		英語発音クリニック		2				
		児童英語		2				
		社会学概論		2				
		国際経済論		2				
		アジアマーケティング論		2				
		ビジネス統計学		4				
		国際通商法		2				
		国際経営論		2				
		インバウンドツーリズム産業論		2				
	総 合 演 習	専門演習Ⅰ	2		} 必修10単位			
専門演習Ⅱ		2						
専門演習Ⅲ		2						
卒業研究		4						
基 盤 教 育 科 目	ベ ー シ ッ ク ス	評価と実践Ⅰ	1		} 必修8単位			
		評価と実践Ⅱ	1					
		リーダーシップ演習		1				
		仕事とキャリア形成Ⅰ	2					
		仕事とキャリア形成Ⅱ		2				
		初年次セミナー	1					
		基礎演習	1					
		学習技術	1					
		リサーチ入門	1					
	コ モ ン ベ ー シ ッ ク ス	第 2 外 国 語	中国語Ⅰ		2	} 選択必修10単位 以上  日本語能力試験 N1の合格者は10 単位中2単位を認 定、8単位履修		
			中国語Ⅱ		2			
			韓国・朝鮮語Ⅰ		2			
			韓国・朝鮮語Ⅱ		2			
			マレー語		1			
			インドネシア語		1			
		留 学 生 対 象	日本語Ⅰ		2			
			日本語Ⅱ		2			
			日本語Ⅲ		2			
日本語Ⅳ				2				
日本語Ⅴ				2				
アカデミック日本語Ⅰ				1				
アカデミック日本語Ⅱ				1				
日本語ライティングⅠ				1				
日本語ライティングⅡ				1				
ビジネス日本語Ⅰ				1				
ビジネス日本語Ⅱ				1				
専門日本語Ⅰ				1				
専門日本語Ⅱ				1				
情 報	ICTリテラシー		2					
	ICT活用A		2					
ス ポ ー ツ	生涯スポーツⅠ		1					
	生涯スポーツⅡ		1					

別表第1-4 国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科

授業科目 の区分等	授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考	
		必修	選択			
基盤教育科目	人間の理解	人間学Ⅰ	2	必修4単位		
		人間学Ⅱ	2			
		倫理と社会生活	2			
		教育と人間形成	2			
		比較宗教論	2			
		人権と法	2			
	社会と生活	近現代の歴史		2	選択必修2単位以上	各領域から 2単位以上(※1)
		社会階層と文化		2		
		国際社会と政治		2		
		日本国憲法		2		
	科学と生活	データサイエンス		2	選択必修2単位以上	
		環境と生活		2		
		生命と倫理		2		
情報と社会			2			
食と健康			2			
グローバル アーツ ディ バイ ル ス タ ディ	グローバルスタディⅠ		1	選択必修1単位以上		
	グローバルスタディⅡ		2			
	グローバルスタディⅢ		3			
	地域研究(北米圏)		2			
	地域研究(アジア圏)		2			
	日本事情		2			
	日本文化論		2			
テ コ ミ ニ テ ィ ス タ ディ	地域防災減災論		2	0単位(※2)		
	災害と安全		2			
	ボランティア論		2			
特 別 研 究	特別研究Ⅰ		1			
	特別研究Ⅱ		2			
	特別研究Ⅲ		3			
	特別研究Ⅳ		4			
課 題 研 究	課題研究Ⅰ		4			
	課題研究Ⅱ		8			
	課題研究Ⅲ		12			
	課題研究Ⅳ		16			

ただし、専門教育科目、基盤教育科目および選択としての上記以外の科目を合わせて、  
126 単位以上を修得しなければならない。(自由科目を除く)

同表に定めるほか、グローバルスタディ及びコミュニティスタディ科目の履修及び修得単位等の  
詳細は別に定める。

KUISオナーズプログラムの履修及び修得単位等の詳細は別に定める。

(※1)リベラルアーツ科目群は「人間の理解」「社会と生活」「科学と生活」から各2単位以上取得すること。

(※2)コミュニティスタディは、展開科目のコミュニティスタディ科目群(サービ斯拉ーニングⅠ・Ⅱ、インターンシップⅠ・Ⅱ・Ⅲ)により1単位以上履修すること。

別表第1-5 保健医療学部看護学科

授業科目 の区分等		授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考	
			必修	選択			
専門教育科目	専門基礎科目	形態機能学Ⅰ(運動器・神経系)	2		}		
		形態機能学Ⅱ(循環器・内臓系)	2				
		生化学	1				
		薬理学	1				
		臨床栄養学	1				
		免疫学	1				
		病態学	1				
		疾病・治療論Ⅰ(内科系)	1				
		疾病・治療論Ⅱ(外科系)	1				
		疾病・治療論Ⅲ(精神/老年)	1				
		疾病・治療論Ⅳ(母性/小児)	1				
		多専門職連携医療論	1				
		遺伝学		1			}
		生物学基礎		1			
	化学基礎		1				
	心理学基礎		1				
		人間と環境	家族社会学		1	}	
			環境保健学	1			
			疫学	2			
			保健統計学	2			
			保健医療福祉行政論		1		
		基盤看護学	基礎看護学概論	2		}	
			基礎看護学方法論	2			
			基礎看護技術Ⅰ(生活援助)	1			
			基礎看護技術Ⅱ(治療援助)	1			
			基礎看護技術Ⅲ(看護過程)	1			
			セイフティマネジメント	1			
			看護マネジメント	1			
			基礎看護学実習Ⅰ(早期体験実習)	1			
			基礎看護学実習Ⅱ(看護援助過程)	2			
	療養支援看護学	成人健康看護学概論	2		}	必修科目 含み102 単位以上	
		急性・重症看護援助論	2				
		慢性看護援助論	2				
		がん看護援助論(含む終末期)	1				
		急性・慢性看護技術演習	1				
		急性看護学実習	3				
		慢性看護学実習	3				
		精神健康看護学概論	2				
		精神看護援助論	2				
		精神看護学実習	2				

別表第1-5 保健医療学部看護学科

授業科目 の区分等		授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数		備 考
			必修	選択			
専門教育科目	家族支援看護学	小児健康看護学概論	2		選択科目 6単		
		小児看護援助論	2				
		小児看護学実習	2				
		母性健康看護学概論	2				
		母性看護援助論	2				
		母性看護学実習	2				
		基礎助産学		2			
		助産診断技術学Ⅰ		2			
		助産診断技術学Ⅱ		4			
		助産管理		1			
		助産学実習		7			
		生活支援看護学	老年健康看護学概論	2			
	老年看護援助論		2				
	老年看護学実習		3				
	在宅看護学概論		2				
	在宅看護援助論		2				
	在宅看護学実習		1				
	公衆衛生看護学概論		2				
	個人・家族・集団・組織の支援活動論			2			
	公衆衛生看護活動展開演習			3			
	公衆衛生看護管理論			2			
	公衆衛生看護学実習			4			
	総合看護	代替療法看護論		1			
		災害看護論		1			
		国際看護論	1				
		看護研究方法	2				
		実践看護学特演		3			
		統合看護実習	4				
		卒業研究	4				

別表第1-5 保健医療学部看護学科

授業科目 の区分等	授 業 科 目	単位数		卒業要件単位数	備 考		
		必修	選択				
基盤教育科目	ベ ー シ ン ク ス	評価と実践Ⅰ	1		必修 科目 含み4 単位 以上		
		評価と実践Ⅱ	1				
		リーダーシップ演習		1			
		初年次セミナー 学習技術	1 1				
		リサーチ入門		1			
	コ モ ン ベ ー シ ク ス	第 1 外 国 語	基礎英語	2		必修 科目 含み6 単位 以上	
			総合英語Ⅰ	2			
			総合英語Ⅱ	2			
			オーラルイングリッシュⅠ		1		
			オーラルイングリッシュⅡ		1		
			オーラルイングリッシュⅢ		1		
			インテンシブイングリッシュⅠ		1		
			インテンシブイングリッシュⅡ		1		
		第 2 外 国 語	中国語Ⅰ		2		
			中国語Ⅱ		2		
			韓国・朝鮮語Ⅰ		2		
			韓国・朝鮮語Ⅱ		2		
		情 報	ICTリテラシー		2		
			ICT活用A		2		
			ICT活用B		2		
ICT活用C			2				
ポ ー ツ	健 康 と ス	生涯スポーツⅠ		1			
		生涯スポーツⅡ		1			
リ ベ ラ ル ア ー ツ	人 間 の 理 解	人間学Ⅰ	2		必修科 目含み4 単位以 上		
		人間学Ⅱ	2				
		倫理と社会生活 教育と人間形成		2 2			
		比較宗教論		2			
		人権と法		2			
	社 会 と 生 活	近現代の歴史		2		2単位以上	
		社会階層と文化		2			
		国際社会と政治		2			
	科 学 と 生 活	環境と生活		2		2単位以上	
		生命と倫理		2			
		情報と社会		2			
		食と健康		2			
	グ ロ ー バ ル ス タ ディ ア ル ス	グローバルスタディⅠ		1			
		グローバルスタディⅡ		2			
		グローバルスタディⅢ		3			
地域研究(北米圏)			2				
地域研究(アジア圏)			2				
日本文化論		2					
テ コ ミ ニ タ リ	ボランティア論		1				
	災害と安全		2				
	地域防災減災論		2				

ただし、専門教育科目102単位以上、基盤教育科目18単位以上を修得し、その他6単位の計126 単位以上を修得しなければならない。



別表第2-1~11 削除

別表第2-12

教育の基礎的理解に関する科目(人間科学部人間心理学科)  
[中学校・社会]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考	
		必修科目	選択科目	単位数			
				必修	選択		
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	11	教育学概論		2			
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論		2			
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育社会学 学校経営論 教育制度論		2 2 2	} 1科目 以上 選択	
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育・学校心理学	発達心理学	2	2		
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育基礎		1			
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメント含む。)		教育課程論		2			

別表第2-12-2

道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目(人間科学部人間心理学科)

[中学校・社会]

道徳の理論及び指導法	11	道徳教育の指導法		2		
総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法		1		
特別活動の指導法		特別活動の指導法		2		
教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育方法論		2		
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談		2		
生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論		2		
進路指導(キャリア教育に関する基礎的な事項を含む。)						

別表第2-12-3

教育実践に関する科目(人間科学部人間心理学科)

[中学校・社会]

教育実習	7	教育実習 I		5		
教職実践演習		教職実践演習(中・高)		2		

別表第2-13

教育の基礎的理解に関する科目(人間科学部人間心理学科)

[高等学校・公民]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	11	教育学概論		2		
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論		2		
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育社会学 学校経営論 教育制度論		2 2 2	} 1科目以上 選択
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育・学校心理学	発達心理学	2	2	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育基礎		1		
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメント含む。)		教育課程論		2		

別表第2-13-2

道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目(人間科学部人間心理学科)

[高等学校・公民]

総合的な学習の時間の指導法	9	総合的な学習の時間の指導法		1		
特別活動の指導法		特別活動の指導法		2		
教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育方法論		2		
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		教育相談		2		
生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論		2		

別表第2-13-3

教育実践に関する科目(人間科学部人間心理学科)

[高等学校・公民]

教育実習	5	教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ		5 3	} 1科目以上 選択
教職実践演習		教職実践演習(中・高)		2	

別表第2-14

教科及び教科の指導法に関する科目(人間科学部人間心理学科)

[中学校・社会]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
日本史 及び 外国史	32	日本史概説 外国史概説 日本文化史	近代社会論	2 2 2	2	
地理学 (地誌を含む)		地理学 人文地理	地域民俗論	2 2	2	
法律学 政治学		法律学概論 国際社会と政治	人権と法	2 2	2	
社会学 経済学		社会学概論 経済学	現代社会論 現代家族論 国際経済論 マーケティング 犯罪学概論	2 2 2 2 2	2 2 2 4 2	
哲学 倫理学 宗教学		比較宗教論 倫理と社会生活	生命と倫理	2 2	2	
各教科の指導法(情報 機器及び教材の活用を 含む。)		社会科教育法Ⅰ 社会科教育法Ⅱ 社会科・公民科教育法Ⅰ 社会科・公民科教育法Ⅱ		2 2 2 2		

別表第2-15

教科及び教科の指導法に関する科目(人間科学部人間心理学科)

[高等学校・公民]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
法律学 (国際法を含む) 政治学 (国際政治を含む)	24	法律学概論 国際社会と政治	人権と法	2 2	2	
社会学、経済学 (国際経済を含む)		社会学概論	現代社会論 現代家族論	2 2	2 2	
		経済学 国際経済論	マーケティング 犯罪学概論	2 2	4 2	
		倫理と社会生活	生命と倫理	2	2	
哲学 倫理学 宗教学 心理学		心理学概論		4		
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	社会科・公民科教育法Ⅰ		2			
	社会科・公民科教育法Ⅱ		2			

別表第2-16

大学が独自に設定する科目(人間科学部人間心理学科)

[中学校・社会]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
大学が独自に設定する科目	4		ボランティア論 ボランティア実習 教育と人間形成 災害と安全 地域防災減災論	2 2 2 2		

別表第2-12(教育の基礎的理解に関する科目)、別表第2-12-2(道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目)、別表第2-12-3(教育実践に関する科目)の27単位を超えて履修した科目及び別表第2-14(教科及び教科の指導法に関する科目)の28単位を超えて履修した科目と、本表の必修科目及び選択科目を併せて、4単位以上を履修しなければならない。

別表第2-17

大学が独自に設定する科目(人間科学部人間心理学科)

[高等学校・公民]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
大学が独自に設定する科目	12		ボランティア論 ボランティア実習 道徳教育の指導法 教育と人間形成 災害と安全 地域防災減災論		2 2 2 2 2 2	
別表第2-13(教育の基礎的理解に関する科目)、別表第2-13-2(道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目)、別表第2-13-3(教育実践に関する科目)の23単位を超えて履修した科目及び別表第2-15(教科及び教科の指導法に関する科目)の24単位を超えて履修した科目と、本表の必修科目及び選択科目を併せて、12単位以上を履修しなければならない。						

別表第2-18

教育職員免許状を取得するために必要なその他の科目(人間科学部人間心理学科)

[中学校・社会][高等学校・公民]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法		2		
体育	2	生涯スポーツⅠ		1		
		生涯スポーツⅡ		1		
外国語コミュニケーション	2		オーラルイングリッシュⅠ		1	
			オーラルイングリッシュⅡ		1	
			オーラルイングリッシュⅢ		1	
			基礎英語		2	
			総合英語Ⅰ		2	
			英語Ⅰ		4	
			英語Ⅱ		4	
			英語Ⅲ		4	
	英語Ⅳ		4			
情報機器の操作	2	ICTリテラシー		2		

別表第2-19~22 削除

別表第2-23

教育の基礎的理解に関する科目(国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科)

[中学校・英語]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				
		必修科目	選択科目	単位数		備考
				必修	選択	
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	11	教育学概論		2		
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論		2		
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育社会学 学校経営論 教育制度論		2 2 2	} 1科目 以上 選択
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	発達心理学	2	2	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育基礎		1		
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメント含む。)		教育課程論		2		

別表第2-23-2

道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目(国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科)

[中学校・英語]

道徳の理論及び指導法	11	道徳教育の指導法		2		
総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法		1		
特別活動の指導法		特別活動の指導法		2		
教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育方法論		2		
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談		2		
生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論		2		
進路指導(キャリア教育に関する基礎的な事項を含む。)						

別表第2-23-3

教育実践に関する科目(国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科)

[中学校・英語]

教育実習	7	教育実習 I		5		
教職実践演習		教職実践演習(中・高)		2		

別表第2-24

教育の基礎的理解に関する科目(国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科)

[高等学校・英語]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	11	教育学概論		2		
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論		2		
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育社会学 学校経営論 教育制度論		2 2 2	} 1科目 以上 選択
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	発達心理学	2	2	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育基礎		1		
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメント含む。)		教育課程論		2		

別表第2-24-2

道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目(国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科)

[高等学校・英語]

総合的な学習の時間の指導法	9	総合的な学習の時間の指導法	1			
特別活動の指導法		特別活動の指導法	2			
教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育方法論	2			
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談	2			
生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論		2		
進路指導(キャリア教育に関する基礎的な事項を含む。)						

別表第2-24-3

教育実践に関する科目(国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科)

[高等学校・英語]

教育実習(学校インターンシップ(学校体験活動)を2単位まで含むことが出来る。)	5	教育実習Ⅰ		5	} 1科目以上 選択
		教育実習Ⅱ		3	
教職実践演習		教職実践演習(中・高)	2		

別表第2-25

教科及び教科の指導法に関する科目(国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科)

[中学校・英語]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
英語学	28	英語音声学		2		
		英語学Ⅰ		2		
		英語学Ⅱ		2		
英語文学		英米文学概論		2		
英語コミュニケーション		英語総合1		2		
		リーディング総合1		2		
		ライティング総合1		2		
		アドバンスト・コミュニケーション1		2		
異文化理解		異文化理解		2		
		言語と文化		2		
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	英語科教育法Ⅰ		2			
	英語科教育法Ⅱ		2			
	英語科教育法Ⅲ		2			
	英語科教育法Ⅳ		2			

別表第2-26

教科及び教科の指導法に関する科目(国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科)

[高等学校・英語]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
英語学	28	英語音声学		2		
		英語学Ⅰ		2		
		英語学Ⅱ		2		
英語文学		英米文学概論		2		
英語コミュニケーション		英語総合1		2		
		リーディング総合1		2		
		ライティング総合1		2		
		アドバンスト・コミュニケーション1		2		
異文化理解		異文化理解		2		
		言語と文化		2		
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	英語科教育法Ⅰ		2			
	英語科教育法Ⅱ		2			
	英語科教育法Ⅲ		2			
	英語科教育法Ⅳ		2			



別表第2-27

大学が独自に設定する科目(国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科)

[中学校・英語]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
大学が独自に設定する科目	4		ボランティア論 ボランティア実習 教育と人間形成 災害と安全 地域防災減災論	2	2 2 2 2	
別表第2-23(教育の基礎的理解に関する科目)、別表第2-23-2(道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目)、別表第2-23-3(教育実践に関する科目)の27単位を超えて履修した科目及び別表第2-25(教科及び教科の指導法に関する科目)の28単位を超えて履修した科目と、本表の必修科目及び選択科目を併せて、4単位以上を履修しなければならない。						

別表第2-28

大学が独自に設定する科目(国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科)

[高等学校・英語]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
大学が独自に設定する科目	12		ボランティア論 ボランティア実習 道徳教育の指導法 教育と人間形成 災害と安全 地域防災減災論		2 2 2 2 2 2	
別表第2-24(教育の基礎的理解に関する科目)、別表第2-24-2(道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目)、別表第2-24-3(教育実践に関する科目)の23単位を超えて履修した科目及び別表第2-26(教科及び教科の指導法に関する科目)の24単位を超えて履修した科目と、本表の必修科目及び選択科目を併せて、12単位以上を履修しなければならない。						

別表第2-29

教育職員免許状を取得するために必要なその他の科目(国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科)

[中学校・英語][高等学校・英語]

科目分野	最低 履修 単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法		2		
体育	2	生涯スポーツⅠ 生涯スポーツⅡ		1 1		
外国語コミュニケーション	2		オーラルイングリッシュⅠ オーラルイングリッシュⅡ オーラルイングリッシュⅢ 基礎英語 総合英語Ⅰ 英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ		1 1 1 2 2 4 4 4 4	
情報機器の操作	2	ICTリテラシー		2		

別表第2-30

教育の基礎的理解に関する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[幼稚園教諭]

科目分野	最低 履修 単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	16	教育学概論	公教育論	2	2	
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論	教職特論	2	2	
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			初等学校経営論 教育制度論		2 2	} 1科目 以上選択
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学 発達心理学	こども発達学	2 2	2	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育総論		2		
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメント含む。)		初等教育課程論 保育課程論		2 2		

別表第2-30-2

道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[幼稚園教諭]

教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	6		幼児教育方法論		2	
			初等教育方法論 (情報機器の操作含む)		2	
		幼児理解の理論及び方法	幼児理解		2	
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談		2	

別表第2-30-3

教育実践に関する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[幼稚園教諭]

教育実習	7	幼稚園教育実習Ⅰ		2	
		幼稚園教育実習Ⅱ			2
		幼稚園教育実習事前事後指導		1	
教職実践演習		教職実践演習(幼)		2	

別表第2-31

領域及び保育内容の指導法に関する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[幼稚園教諭]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				
		必修科目	選択科目	単位数		備考
				必修	選択	
国語	16		国語Ⅰ 国語Ⅱ		2 2	
算数			算数Ⅰ 算数Ⅱ		2 2	
生活			生活		2	
音楽		音楽Ⅰ・器楽 音楽Ⅱ・器楽		1 1		
			音楽Ⅲ・伴奏法		1	
図画工作		造形Ⅰ		1		
			造形Ⅱ 図画工作Ⅰ 図画工作Ⅱ		1 1 1	
		体育指導Ⅰ 体育指導Ⅱ		1 1		
保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		幼児指導法			2	
		保育内容総論		1		
		保育内容・健康		1		
		保育内容・人間関係		1		
		保育内容・環境		1		
		保育内容・言葉		1		
		保育内容・表現Ⅰ 保育内容・表現Ⅱ		1 1		

## 別表第2-32

大学が独自に設定する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[幼稚園教諭]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
大学が独自に設定する科目	14		ボランティア論 ボランティア実習 道徳教育の指導法 心理学概論Ⅰ 社会学概論 教育と人間形成 災害と安全 地域防災減災論 防災教育 障害児保育Ⅰ 障害児保育Ⅱ 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ 社会的養護内容 保育相談支援 社会的養護		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 2	
別表第2-30(教育の基礎的理解に関する科目)、別表第2-30-2(道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目)、別表第2-30-3(教育実践に関する科目)の21単位を超えて履修した科目及び別表第2-31(領域及び保育内容の指導法に関する科目)の16単位を超えて履修した科目と、本表の必修科目及び選択科目を併せて、14単位以上を履修しなければならない。						

## 別表第2-33

教育職員免許状を取得するために必要なその他の科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[幼稚園教諭]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法		2		
体育	2		体育講義 生涯スポーツⅠ 生涯スポーツⅡ		2 1 1	
外国語コミュニケーション	2		オーラルイングリッシュⅠ オーラルイングリッシュⅡ オーラルイングリッシュⅢ 基礎英語 総合英語Ⅰ 英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ		1 1 1 2 2 4 4 4 4	
情報機器の操作	2		初等情報機器活用論 ICTリテラシー		2 2	

別表第2-34

教育の基礎的理解に関する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[小学校教諭]

科目分野	最低 履修 単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	14	教育学概論	公教育論	2	2	
教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論	教職特論	2	2	
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			初等学校経営論 教育制度論		2 2	} 1科目 以上選択
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学 発達心理学	こども発達学	2 2	2	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育総論		2		
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメント含む。)		初等教育課程論		2		

別表第2-34-2

道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[小学校]

道徳の理論及び指導法	11	道徳教育の指導法		2		
総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法		1		
特別活動の指導法		特別活動の指導法		2		
教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		初等教育方法論		2		
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		教育相談		2		
生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論		2		
進路指導(キャリア教育に関する基礎的な事項を含む。)						

別表第2-34-3

教育実践に関する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[小学校]

教育実習(学校インターンシップ(学校体験活動)を2単位まで含むことができる。)	7	小学校教育実習Ⅰ 小学校教育実習Ⅱ 教育実習事前事後指導		2 1	2	
教職実践演習		教職実践演習(小)		2		

別表第2-35

教科及び教科の指導法に関する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[小学校教諭]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
国語	30	国語Ⅰ (書写含む)	国語Ⅱ	2	2	
社会			社会Ⅰ 社会Ⅱ		2 2	
算数		算数Ⅰ	算数Ⅱ	2	2	
理科			理科Ⅰ 理科Ⅱ		2 2	
生活			生活		2	
音楽		音楽Ⅰ・器楽 音楽Ⅱ・器楽	音楽Ⅲ・伴奏法	1 1	1	
図画工作		造形Ⅰ	造形Ⅱ 図画工作Ⅰ 図画工作Ⅱ	1	1 1 1	
家庭			家庭		2	
体育		体育指導Ⅰ 体育指導Ⅱ		1 1		
外国語		外国語		2		
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		初等国語科教育法 (書写含む) 初等社会科教育法 初等算数科教育法 初等理科教育法 初等音楽科教育法 初等図画工作科教育法 初等家庭科教育法 初等体育科教育法 外国語の指導法	初等生活科教育法	2 2 2 2 2 2 2 2 2	2	

## 別表第2-36

大学が独自に設定する科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[小学校教諭]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
大学が独自に設定する科目	2		ボランティア論 ボランティア実習 社会学概論 心理学概論Ⅰ 教育と人間形成 災害と安全 防災教育 地域防災減災論		2 2 2 2 2 2 2 2	

別表第2-34(教育の基礎的理解に関する科目)、別表第2-34-2(道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目)、別表第2-34-3(教育実践に関する科目)の27単位を超えて履修した科目及び別表第2-35(教科及び教科の指導法に関する科目)の30単位を超えて履修した科目と、本表の必修科目及び選択科目を併せて、2単位以上を履修しなければならない。

## 別表第2-37

教育職員免許状を取得するために必要なその他の科目(教育学部教育福祉学科 こども学専攻)

[小学校教諭]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				備考
		必修科目	選択科目	単位数		
				必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法		2		
体育	2		体育講義 生涯スポーツⅠ 生涯スポーツⅡ		2 1 1	
外国語コミュニケーション	2		オーラルイングリッシュⅠ オーラルイングリッシュⅡ オーラルイングリッシュⅢ 基礎英語 総合英語Ⅰ 英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ		1 1 1 2 2 4 4 4 4	
情報機器の操作	2		初等情報機器活用論 ICTリテラシー		2 2	

別表第2-38

特別支援教育に関する科目(人間科学部人間心理学科)

[特別支援学校教諭・知的障害者の教育に関する領域]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				
		必修科目	選択科目	単位数		備考
				必修	選択	
特別支援教育の基礎理論に関する科目	2	障害者教育総論		2		
特別支援教育領域に関する科目	4	知的障害者の心理		2		
		知的障害者の生理・病理		2		
	10	知的障害教育Ⅰ		2		
		知的障害教育Ⅱ		2		
知的障害者の言語障害指導 知的障害者の自立活動の理論と実際 知的障害児における情報機器等の活用と指導			2 2 2			
特別支援教育領域に関する科目	2	知的障害教育総論		2		
		知的障害教育総論		2		
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	2	障害児教育課程論		2		
	4	障害児教育論		2		
		重複障害・LD等教育総論		2		
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	3	教育実習(特別支援学校)		3		



別表第2-39

特別支援教育に関する科目(教育学部教育福祉学科)

[特別支援学校教諭・知的障害者、肢体不自由、病弱者の教育に関する領域]

科目分野	最低履修単位数	本学開講の関連科目・単位数				
		必修科目	選択科目	単位数		備考
				必修	選択	
特別支援教育の基礎理論に関する科目	2	障害者教育総論		2		
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	知的障害者の心理・生理・病理		2		
		肢体不自由者の心理・生理・病理		2		
	病弱者の心理・生理・病理		2			
	知的障害教育	知的障害者の言語障害指導	2	2		
心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	16	知的障害者の自立活動の理論と実際		2		
知的障害児における情報機器等の活用と指導			2			
肢体不自由教育		2				
病弱教育		2				
心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	6	知的障害教育総論		2	1科目 選択 必修	
		肢体不自由教育総論		2		
		病弱教育総論		2		
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	6	聴覚障害・視覚障害教育総論		2		
		障害児教育論		2		
		重複障害教育総論		2		
LD等教育総論		2				
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	3	教育実習(特別支援学校)		3		

別表第3

費目 学部・学科		入学 検定料	学 費			
			入学金	授業料 (年額)	教育改善費 (年額)	教材費 (年額)
経営学部	経営学科	円 35,000	円 300,000	円 857,000	円 262,000	円 40,000
人間科学部	人間心理学科	35,000	300,000	857,000	262,000	40,000
教育学部	教育福祉学科	35,000	300,000	857,000	262,000	40,000
国際コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	35,000	300,000	857,000	262,000	40,000
保健医療学部	看護学科	35,000	300,000	1,278,000	262,000	40,000